

大学は空間か、関係か —新しい知の共同体と学びの入口—

日 時 2025 年 11 月 21 日 [金] 13:30-17:05

開催方法 対面およびオンライン

対面会場 名古屋大学 東山キャンパス

アジア法交流館 アジアコミュニティフォーラム

事前申込：11/18 締切 参加無料 対象：高等教育に関心をお持ちの方 定員：対面 200 名 / オンライン 500 名

かつて日本の中等・高等教育は、教室という物理的空間を共有し、時間をともにすることで形成される「知の場」として機能してきました。しかし、コロナ禍を契機にオンライン教育が急速に普及し、この前提は大きく揺らぎました。現在では対面教育への回帰も見られる一方で、教室やキャンパスの外に広がる新たな学びの共同体も、オンライン大学を中心に発展しています。私たちは今、大学の本質を改めて問い直す時代に立っています。

こうした変化は、地方における人口減少や短期大学の閉学が進む中で、大学が地域社会と築いてきた役割や、身体性をともなう学びの意味を再考する契機ともなっています。また、オンライン環境の進展は、高等教育へのアクセスが困難だった層——特に通信制高校からの進学者の増加という新たな現象をもたらしています。

通信制高校の生徒たちは柔軟な学習スタイルを持つ一方で、大学進学後には学習習慣のギャップなど、さまざまな課題に直面しています。こうした背景のもと、大学は彼らをどのように受け入れ、支え、共に学ぶ「知の共同体」となりうるのでしょうか。また、キャンパスを主軸とする大学は、空間を越えた学びをどのように創造できるのでしょうか。

本シンポジウムでは、「大学は空間か、関係か」という問いを中心に、通信制高校からの進学者を含む多様な学生の存在を起点として、「地域で学ぶ」意義や「つながりに基づく大学」の可能性を探ります。空間・関係性・テクノロジーの観点から、オンライン時代の高等教育の新たな地平を描き、皆さんと共に新しい学びの形を考える場としたいと考えています。

- モデレーター 田口 真奈（たぐち・まな）
京都大学 教育学研究科 准教授
- 講演 1 鈴木 克夫（すずき・かつお）
桜美林大学 教育探究科学群 教授
- 講演 2 若山 正人（わかやま・まさと）
学校法人 日本財団ドワンゴ学園 ZEN 大学 学長
- 講演 3 内田 康弘（うちだ・やすひろ）
愛知学院大学 教養部 准教授
- 講演 4 清島 絵利子（きよしま・えりこ）
岐阜大学 教育推進・学生支援機構 准教授

申込方法 ■対面の方
下記リンクまたは 2 次元コードから参加申込みのうえ、当日会場へお越しください。
<https://forms.office.com/r/jHt4yjq1bX>



■オンラインの方
下記リンクまたは 2 次元コードからお申し込みください。
https://us02web.zoom.us/join/register/WN_1yyycWlqTZSe3sNphk3Heg#/registration
なお、どちらも定員に達し次第、締め切りといたします。



お問い合わせ 名古屋大学 教育基盤連携本部
Mail: nuqa@t.mail.nagoya-u.ac.jp

共 催：名古屋大学 教育基盤連携本部
名古屋大学 高等教育研究センター
東海国立大学機構 アカデミック・セントラル

プログラム

- 13:15 受付開始
- 13:30 開会挨拶
寺崎 一郎（名古屋大学 副総長）
- 13:35 全体説明・諸連絡
加藤 真紀（高等教育人材育成システムグループ 教授）
- 13:40 モデレーターからの問題提起
- 13:50 講演 1
「変わる通信制大学と質保証の行方」
- 14:20 講演 2
「オンライン大学の取組— ZEN 大学の場合」
(休憩 10 分)
- 15:00 講演 3
「通信制高校の現状と大学進学者
—その特徴と課題—」
- 15:30 講演 4
「非対面サイバー空間における双方向的な学び
—約 1,300 名の相互評価を通じて—」
- 16:00 パネルディスカッション・質疑応答など
- 17:00 閉会挨拶
北 栄輔（高等教育人材育成システムグループ長）

※プログラムの内容は、諸般の事情により変更となることがありますので、ご了承ください。